

川崎市職員の管理職員特別勤務手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和 7 年 3 月 31 日

川崎市人事委員会

委員長 瀧 峰 雅 介

川崎市人事委員会規則第 13 号

川崎市職員の管理職員特別勤務手当に関する規則の一部を改正する規則

川崎市職員の管理職員特別勤務手当に関する規則（平成4年川崎市人事委員会規則第16号）の一部を次のように改正する。

第2条第1項第2号中「学部長」の次に「、研究科長」を加える。

第3条第1項第2号中「学部長」の次に「、研究科長」を加え、同項に次の2号を加える。

(3) 任期付職員条例第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員  
次に掲げる当該職員が受ける任期付職員条例第7条第1項の給料表の号  
給又は給料月額に応じ、それぞれ次に定める額

ア 5号給から7号給まで及び任期付職員条例第7条第3項の規定による

給料月額 6,000円

イ 3号給及び4号給 5,000円

ウ 1号給及び2号給 4,000円

(4) 任期付研究員条例第3条第1号の規定により任期を定めて採用された職員  
次に掲げる当該職員が受ける任期付研究員条例第5条第1項の給料表  
の号給又は給料月額に応じ、それぞれ次に定める額

ア 6号給及び任期付研究員条例第5条第4項の規定による給料月額 6  
,000円

イ 4号給及び5号給 5,000円

ウ 1号給から3号給まで 4,000円

第3条第2項を次のように改める。

2 条例第13条の3第3項第2号の人事委員会規則で定める勤務は、勤務に  
従事した時間が6時間を超える場合の勤務とする。

第6条を第7条とし、第5条を第6条とし、第4条を第5条とし、第3条の  
次に次の1条を加える。

第4条 次に掲げる場合には、条例第13条の3第2項の規定による管理職員特別勤務手当を支給しない。この場合において、職員がした同条第2項の勤務は、同条第1項の勤務とみなす。

(1) 条例第13条の3第1項の勤務をした後、引き続いて同条第2項の勤務をした場合

(2) 条例第13条の3第2項の勤務をした後、引き続いて同条第1項の勤務をした場合

附則第2項中「第3条第1項中」を「第3条第1項第1号及び第2号中」に改める。

別記様式を次のとおり改める。

別記様式

管理職員特別勤務実績簿

月 日	従事業務の内容 ／勤務が必要で あつた理由	勤務時間	休憩時 間等	実働 時間	振替等が行え なかつた理由	週休日等 手当区分			平日手当 区分		確認			
						50	100	150	100	150				
						100	100	100	100	100				
		前日/当日 ： から	・	・										
		前日/翌日 ： まで	・	・										
		前日/当日 ： から	・	・										
		前日/翌日 ： まで	・	・										
		前日/当日 ： から	・	・										
		前日/翌日 ： まで	・	・										
		前日/当日 ： から	・	・										
		前日/翌日 ： まで	・	・										
支払コード	所属					年	月	50	100	150	100	150		
	費目コード	職員コード	氏名											

課かい長 の確認		年	月分	勤務回数				
				週休日等			平日	
				50	100	150	100	150
支払コード	費目コード	職員コード	氏名					

## 附 則

この規則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。